

境港で進行中のバイオマス発電所建設現場を訪問しました

株日新バイオマス発電事業の概要(参考:株日新HP)
株日新(鳥取県・境港市)は、平成25年5月17日、鳥取県より要請を受け、総事業費26億円を投じて鳥取県境港市にて木質バイオマス発電事業を開始する事を決定しました。発電所は、地域森林の林地残材や間伐材を加工したチップと自社にて発生するチップを燃料として、最大出力5,700kwの発電を行う。発電した年間3762万kwhは、国の固定価格買い取り制度に基づき売電します。発電所では新たに職員の雇用を計画し、2015年4月の稼働を目指しています。

株日新バイオマス発電所建設現場

訪問レポート

平成26年10月、境港市に株日新さんを訪問、現場の見学と事業についてお話しをお伺いしてきました。

現在、発電所の本体を工事中。試運転の開始は平成27年2月を予定。売電開始は平成27年4月からの予定との事。年間で木材チップを8万トンの使用見込みで、うち未利用材チップが4万トンの計画です。この発電所の稼働により、林業現場を含めて約50名の雇用創出を見込んでいるとの事でした。間伐材などの未利用材を活用することで森林整備や地元の林業活性化に貢献をしたいとの思いも語って頂きました。

発電所の稼働により、日南町を含めた鳥取県の木材の需要が大きく増える事が予想されます。また、バイオマス利用はまだまだ活発になると考えられます。川上の林業にも大きな影響を与えることになりそうです。

鳥取県に限らず、バイオマス発電などの従来見られなかった動きが急速に進みつつありま

す。継続可能な森林林業の確立は、日南町のような山間地域が継続していく鍵でもあり、

川下の都市にも森林保全は生活の為に重要なことでもあります。森を守ることが生活を守ることであると、更に訴えかけていきたいと思ひます。

